

登録コード:MH122200 開講年度:2026		授業科目区分	専攻専門科目	必修
科目名	老年看護学概論【20M以降】 Introductory Gerontological Nursing			
担当教員	會田 信子 塚田 尚子			
対象専攻/学年、講義期間、曜日・時限	看護学専攻/ 2 年 前期(前半) 金曜・ 4 時限			
単位数、講義室	1 単位	保健学科 3 1 1 講義室	遠隔授業科目	
信大コンピテンシー	該当			
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素		授業の達成目標	
	MH20カリ・保健			
	生命を尊び、人間についての幅広い知識を身に付け、対象を全人的に理解して、人々の健康を支援することができる。		看護専門職者に必要な老年看護学の国家試験レベルにおける加齢理論や厚生統計、施設・居宅サービスの概要を説明できる。	
	保健・医療において生じている現象を分析し、健康問題を解決するために必要な科学的根拠に基づいた判断の進め方について理解することができる。		社会で派生する多様な健康問題に対して、看護専門職者に求められる倫理的・道徳的姿勢を修得し、老年看護学の特徴やエイジズムの問題の影響について考究できる。	
	保健・医療・福祉の現場において、専門職者として自己の責任を自覚し、チームの一員として協働活動に参加できる。		人生100年時代に求められる老年看護学実践における専門職連携について考究できる。	
	MH25カリ・保健・看護、MH23カリ・保健・看護			
	基礎的・専門的な知識と技能 看護専門職者に必要な幅広い教養と基礎的・専門的な知識・技能を修得し、さまざまな状況で活用できる。		看護専門職者に必要な老年看護学の国家試験レベルにおける加齢理論や厚生統計、施設・居宅サービスの概要を説明できる。	
	科学的探求力 変化し続ける社会で派生する多様な課題に対して、地域・国際的な視点から、科学的・倫理的・道徳的・創造的に課題に対応していく探究心と、課題克服や目標達成に向けて生涯をかけて取り組む力が身についている。		社会で派生する多様な健康問題に対して、看護専門職者に求められる倫理的・道徳的姿勢を修得し、老年看護学の特徴やエイジズムの問題の影響について考究できる。	
授業で学べる「テーマ」	健康長寿			
全学横断特別教育プログラム				
授業概要	世界に類をみない超高齢社会を迎えようとしているわが国において、向老期・老年期を生きる人々のＱＯＬ(生命・生活・人生の質)を維持し高めることを目指した保健医療福祉サービスやシステムのあり方が問われています。本講では、老年期を生きる人々の生活とそれを取りまく社会の視点で、高齢者の多様性を全人的にとらえることを目的として進めます。 本授業は、1年次に学んだ「病理病態学」「人体の構造と機能」などの基礎医学系科目や、基礎看護学系科目の知識を前提とし、2年次後期の「臨床老年看護論」「老年看護方法論」の内容と相補的に学んでいくこととなります。そして、本授業の内容は、3年次後期の「老年看護学実習」における重要な基礎的知識となります。 本授業は、男女共同参画に関する内容を含んでいます。 本授業は、担当教員の医療機関や高齢者施設での看護師としての実務経験を活かして講義を行います。			
授業計画	前期で学ぶ『老年看護学概論/金4限』と『老年健康生活論/金3限』は、学習内容の順序性を考慮しながら融合的に展開します。開講日時に注意して下さい。 第1回(4月10日/金3限)ガイダンス,エイジングと老化理論<小テストa1>〔會田〕 第2回(4月10日/金4限)高齢者の生活機能(functioning)と老年看護の特徴<小テストa2>〔會田〕 第3回(4月17日/金3限)統計からみた高齢者像<小テストa3>〔會田〕▼「社会保障論」のテキスト持参してください 第4回(5月29日/金4限)個別課題学習:高齢者の施設・居宅サービス<課題提出A1+小テストa4> 7/30(木)23:59まで〔會田〕 第5回(6月12日/金3限)個別課題学習:高齢者の施設・居宅サービス<課題提出A1+小テストa4> 7/30(木)23:59まで〔會田〕 第6回(6月19日/金3限)セクシュアリティとエイジズム<課題提出A2> 6/25(木)23:59まで〔會田〕 第7回(7月17日/金3限)老いの主観的体験と「傾聴」の技法<課題提出A3> 7/23(木)23:59まで〔會田〕 第8回(7月24日/金3限)単元の総括 授業アンケートの実施 期末試験:8/6(木)23:59までに自宅でeALPSにて実施			
授業の進め方	授業は「講義」と「個別課題学習」で進めます。 - 指定テキストと資料、視聴覚教材を用いて進めます。 - 配付資料は事前にeALPSにアップするので、各自で印刷 or ダウンロードして下さい。 - 毎回の講義時に、テキスト、配付資料(eALPSにアップ)、ネット回線に接続できる情報処理端末(スマホ、タブレット、PCなど)を持参して下さい。 テキスト3冊は4年次の臨地実習まで使います。テキストの内容は毎年更新されるので「最新版」を購入して下さい。毎回、その日に使うテキストをeALPSに提示するの持参し			

授業の進め方	て下さい。
テキスト, 教材, 参考書	【テキスト】 1) 會田信子他(編), 最新老年看護学(最新版), 日本看護協会出版会。 2) 堀内ふき他(編), ナーシング・グラフィカ老年看護学 高齢者看護の実践(最新版), メディカ出版。 3) 野尻晋一(著), リハビリテーションからみた介護技術(最新版), 中央法規。 【参考書】 各講義の中で随時、提示します。
成績評価の方法	成績評価は、1)小テスト25%、2)課題提出25%、3)期末試験50%の配分比による合計点で実施します。 1) 小テスト(計4回) ・テストは、講義終了後もしくは課題学習終了時に実施していただきます。問題数と制限時間は、その都度、eALPSに提示します。 ・小テストは、講義終了翌週の木曜日23:59までに実施して下さい(ただし、小テストa4のみ別指定)。 ・小テストは、複数回の実施を認めますが、評価には平均点を採用します。 ・小テスト中、資料等の閲覧は可能です。ただし、制限時間があるのでご注意ください。 ・実施直後は「正誤」と「得点」が表示され、「正答」は提出期限後に『正答と解説』PDFとともに公開します。 ・期限が過ぎた場合は、いかなる理由であっても小テストは実施できません(成績に加点しません)。 2) 課題提出(計3回) ・授業中に説明します。 3) 期末試験 ・小テストの問題から厳選して出題します。問題数と制限時間はeALPSに提示します。 ・複数回の実施を認めますが、評価には平均点を採用します。 ・実施直後は「正誤」と「得点」が表示されます。『正答と解説』は公開しませんので、各講義回の『正答と解説』を参照して下さい。 ・期限が過ぎた場合は、いかなる理由であっても期末試験は実施できません。
成績評価の基準	成績評価の方法の合計点にもとづき、判定基準は、90-100点(秀)、80-89点(優)、70-79点(良)、60-69点(可)、60点未満(不可)とします。 課題提出の課題は、下記の4項目で評価します。 提出期限(50点): 指定期限までに、指定された方法で提出されている。 課題内容の適切性(20点): 課題に対して適切な内容が記載されている。 文章構成力・論理性(20点): 自身の主張に対する理由などが客観的・論理的に提示されている。 書式等(10点): 誤字脱字がなく、主述関係が明確で、指定フォームに準じて作成されている。
事前事後学習の内容	【事前学習】 予習してほしい内容は、各回の講義前にeALPS上でアナウンスします。 【事後学習】 授業資料と一緒に、別紙として新聞記事や学術論文等をeALPSに提示します。講義の復習とともに、社会情勢との関係や今後の課題などを検討して、より理解を深めていって下さい。幅広い学修のために関連図書を読むなど、主体的な学習を期待しています。 本授業の単位修得には45時間の学習が必要であるため、以下のような学習時間を必要とします: 授業時間15時間(2時間×7.5回) + 自己学習時間30時間(4時間×7.5回) = 45時間
学生へのメッセージ並びに質問、相談への対応	● オフィスアワー 随時とします。事前にメールでアポイントをとって下さい。 會田信子研究室(中校舎3F) aida@shinshu-u.ac.jp ● 出席確認 ・出席は「QRコード」と「手書き署名による出席」で確認します(欠席者の代筆等の不正行為はしないでください)。 ・事前に欠席することがわかっている場合は、メールにて、講義担当者に欠席理由を教えてください。事前に連絡できない場合は、後日でも結構です。 ● 学習の補充 ・単発的な欠席の場合、いかなる欠席理由であっても、「学習の補充」は特別に課すことはしていません。欠席した時は、eALPSにアップされている配布資料とテキストで自己学習をしてください。 ・欠席が長期間に及ぶ場合は、「学生便覧」の規程に準じた手続きをとって下さい(ただし、自己都合による欠席については学習の補充の対象となりません)。 ・欠席した場合であっても、小テストを期限内に実施すれば成績に反映されます。 ・出席を前提とした課題提出(A2、A3)については、期限内に提出すれば、評価基準に応じた評価をします。その都度、教員にご相談下さい。